

一休集伝器 -祖母からの伝承と焼き鳥を介した集いの創出-

六角美瑠研究室 梅澤達紀

研究概要：

2022年7月私の祖母が経営する「やきとり一休」が47年の暖簾を下ろした。そのことをきっかけに私は一人の建築家として「持ち運べる一休」をつくり、焼き鳥が持つ、人と人を繋ぐ力を活用した地域活動を展開する。

研究目的：

祖母が47年間つくり上げた一休を孫として継承し、建築家として都市で人と人、街と人を結ぶ建築を設計する。

研究成果：



苦労した点や感想など：

集伝器の設計面では一休の解体材を活用したデザインが「一休らしさ」を掛け合わせたブリコラージュをつくるのが非常に苦労した。また、岩出山や白楽キャンパスで集伝器を用いた「やきとりと交換」プロジェクトを行い、自分の設計した建築に人が集い、語り、繋がる空間が生まれたことは非常に良い経験ができた。